

基本方針 4 協働の推進

施策の方向1 食の安全・食育推進協議会との協働

多様化する行政ニーズに適切に対応するため、県民、ボランティア、NPO、企業、大学などの民間と行政とが、目標を共有し、その目標に向かって、共に力を合わせて活動すること（協働）が求められています。食の安全・安心の確保のために、民間団体等の代表で構成されている「岡山県食の安全・安心推進協議会」との協働により、食に関する情報の共有施策の推進に取り組む必要があります。

現状

食の安全・安心の確保に関する県民一体となった様々な施策や取組みについて、情報交換と連携の促進を図り、広く県民各層の意見を施策に反映させる場として、消費者、生産者、製造者、学識経験者等の代表者（25名の委員）で構成された「岡山県食の安全・食育推進協議会」が設置されています。

<協議会開催風景>



協議会の会議は年数回座長の招集により開催され、食の安全・安心の確保や食育の推進に関する議題について各委員から意見や提言をいただき、施策に反映させています。

課題

関係機関のより一層の連携

- 「岡山県食の安全・食育推進協議会」構成団体等による自主活動の推進

取組内容・取組指標

食の安全・食育推進協議会の運営

<施策63 「岡山県食の安全・食育推進協議会」の運営>

岡山県食の安全・食育推進協議会を定期的に運営し、関係団体の代表から構成される協議会委員からの食の安全・安心の確保に係る施策や取組みに対する意見や提言を、施策に反映し、実施していきます。

基本方針 4 協働の推進

施策の方向 2 食品衛生協会、愛育委員連合会、栄養改善協議会等による自主活動の推進

食の安全・安心の確保及び食育の推進のためには、従来からこれらに先駆的に取り組んできた(社)岡山県食品衛生協会、岡山県愛育委員連合会、岡山県栄養改善協議会等の関係機関との協働による施策の推進が必要です。

現状

地域における食の安全・安心や食育の推進のためには、家庭、学校、地域住民自らが食の安全・安心や食育の課題について考え、実践していくことが必要です。このため、(社)岡山県食品衛生協会の行う食品衛生指導員による巡回指導や健康づくりボランティアである岡山県愛育委員連合会、岡山県栄養改善協議会等が行う健康づくりの支援のための親子交流会や「朝食毎日食べよう大作戦」などの自主活動の取組が行われています。また、地域でこれらを推進するリーダーの養成や、食の安全をわかりやすく伝えるリスクコミュニケーターの育成を進めています。

＜食品衛生指導員の指導風景＞



課題

各団体の自主活動の推進

- 民間の各関係団体における自主活動の一層の推進
・講習会、研修会の開催や必要な指導、助言

地域リーダーの養成

- 研修会や講習会の開催などによる人材の育成

取組内容・取組指標

協働を進める人材の育成・活用

施策 6 4 「検定一晴れの国おかやまの食ー」とリスクコミュニケーターの養成

食品衛生や食育等に関する知識を問うご当地検定「検定一晴れの国おかやまの食ー」^①を実施し、リスクコミュニケーター^②を養成します。

項目／年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
「検定一晴れの国おかやまの食ー」の実施 [*]	—	3回以上					
地域の指導者育成講習会の開催 [*]	—	3回以上					
リスクコミュニケーター委嘱人数 [*]	—	90人	135人	160人	180人	200人	225人

※ 岡山県独自事業です。(平成19年度新規事業)

！？ 「検定－晴れの国おかやまの食－」

県民のみなさんに、食品全般について関心をもっていただくことを目的として行う、県の特産品、郷土料理等の食文化、食品衛生、食育についての知識を問う岡山の食に限定した「ご当地検定」です。岡山県食の安全・食育推進協議会と県との協働により実施しています。



！？ リスクコミュニケーター

食品のリスクや食の安全・安心を確保するための取組等について、県民の皆さんにわかりやすく説明し、地域における食に関するリスクコミュニケーションの中核を担う人材として、県が行う食に関する様々なイベントへの参加や意見交換会のパネリストやコーディネーターをお願いする予定です。

新 4 リスクコミュニケーターの育成

食の安全をわかりやすく伝える人材を育成し、地域に密着した食のリスクコミュニケーションの輪を広げていくため、リスクコミュニケーターを対象としたステップアップ研修 **！？** 等の育成研修を開催します。

項目／年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
育成研修受講者数*（延べ人数）	—	—	—	100人	120人	140人	160人

※ 岡山県独自事業です。（平成21年度から）

！？ ステップアップ研修

県民の食に対する不安・不信感が高まる中、地域において科学的に食の安全をわかりやすく伝えるリスクコミュニケーターを育成するための研修。メニュー1から3までの研修を受講したリスクコミュニケーターの中から、講師の派遣や紹介を行い、協働で食の安全に対する正しい理解を普及し、食の安心の拡大を図る。

メニュー1「食の安全に関する科学的思考の定着」

内容：テーマ別専門研修、実技研修

メニュー2「リスクコミュニケーション技術の習得」

内容：企画研修、プレゼンテーション研修

メニュー3「リスクコミュニケーションの実践」

内容：視察型研修会の実践

< 施策66 食品衛生指導員による巡回指導 >

食品業界の自主管理として、食品衛生指導員が、食品取扱施設を巡回し、指導と助言を行います。また、隔年で食品衛生指導員の養成・再教育講習会を実施し、自主管理指導の中核となる食品衛生指導員の育成及び資質の向上を図ります。